

安息日

ユダヤ人は一週間の七日目である土曜日を、すべ

ての者に休養が与えられる安息日と定めて大切にし

ています。申命記では、エジプトで奴隷であったこと

を思い起こして、奴隷からの解放の記念として安息日

を守るように教えています。出エジプト記では、神さ

まが天地を創造された時に七日目に休み、祝福し

聖別されたので安息日を守るように教えています。

多分、神さまが天地を作られた時、七日目に休まれ

たという話は、安息日の大切さを教えるために作ら

れた物語と考えられます。大切なのは、すべてのも

のは神さまから頂いたものであり、七日のうちの

一日を神さまに献げることです。

ですから、安息日には、ただ労働を休むだけでなく、

神さまに感謝を献げるために集まる日となりました。

キリスト教では、ユダヤ教の安息日の精神を受け次

ぎ、イエスさまの復活した日、すなわち週の始めの日

を主の日として祝うようになりました。

人のために定められた安息日

ところで、ユダヤ教きょうで安息日あんそくびの掟おきてが重要視じゅうようしされるようになったのは、バビロニア捕囚ほしゅうの時代じだいになってからだと思おもいます。エルサレムの神殿しんでんが破壊はかいされ、祭儀さいぎ中心ちゅうしんの生活せいかつから律法りつぽうを中心ちゅうしんとした生活せいかつになったからです。

イエスさまの時代じだい、安息日あんそくびを守るためまもにたくさんおの規則きそくが定めさだられていました。そのため、生活せいかつに追おわれている人々ひとびとにとって、安息日あんそくびを守まもることはとてもむずかしいことでした。

イエスさまは安息日あんそくびの定めさだられた意味いみを思おもい起おこさせるために、「人ひとのために安息日あんそくび」があることを

主張しゅちやうしたのです。

規則きそくはなんのためにあるのか考かんがえて、次つぎの空白くうはくに書かいて下ください。

